

平成29年度 伊丹市地域包括支援センター業務評価表

() 地域包括支援センター

1. 運営体制について		市評価合計		達成率		
		0 / 28		0.0%		
①地域包括支援センターの役割を理解し、事業計画にそって業務を行っている。		包括評価合計		市評価合計		
		0 / 5		0 / 5		
1	「伊丹市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「伊丹市地域包括支援センター運営指針」「地域包括支援センター事業実施計画」を理解し、日々の業務を推進している。	・事業計画書、事業計画の進捗がわかるもの ・業務マニュアル(厚労省・市・センター作成等)が職員がいつでも取り出し確認できる状態にあるか				市のコメント
2	センターの運営費用が市民の介護保険料、国・県・市の公費によって賄われていることを理解している。					
3	伊丹市地域包括支援センター運営指針に沿った事業計画を立て、定期的に進捗管理を行っている。					
4	地域の実情に応じて、センターとして必要となる重点課題・重点目標を設定している。					
5	センターの事業実施計画を全職員が理解した上で業務を行っている。					
②適切に職員を配置している		包括評価合計		市評価合計		
		0 / 2		0 / 2		
6	3職種が常勤・専従配置されている。	・保または看: 欠員 期間				
7	職員の欠員期間がなかった。			・社福士: 欠員 期間 ・主任CM: 欠員 期間		

		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 3	0	3
③3職種がチームとして業務にあたっている。		0 / 3	0	3
8	各専門職がそれぞれの専門性を活かし、全員で包括業務にあたっている。	・情報共有ミーティング実施回数 <input type="text"/> / 月 ・センター内の情報共有や伝達等 がわかるもの(ミーティング記録 等) ・センター業務の事務分担、役割 分担表		
9	職員間で定期的にミーティングを行う等、情報共有を行っている。			
10	高齢者に効果的で質の高い支援が提供できるよう、支援の振り返りや情報共有等ができています。			
④個人情報等を適切に管理している。		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 4	0	4
11	不特定多数の者が閲覧できないよう、記録等の情報管理を徹底している。	・個人情報取り扱いマニュアル マニュアルの有無 <input type="text"/> ・誓約書や契約書、パソコンの接 続状況等 ・個人情報の保管状況		
12	守秘義務を厳守し、個人情報を適切に扱っている。			
13	パソコンのウイルス感染、モバイル、USB等データの持ち出し、メール送信等において漏えい等がないよう、適切な取り扱いをしている。			
14	他機関と個人情報のやり取りをする場合、あらかじめ利用者に説明し、同意を得ている。			
⑤職員の研修等学びの機会を確保し、資質向上に取り組んでいる。		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 4	0	4
15	職場内の研修を実施している。	・全研修参加数 保または看: <input type="text"/> 社福士: <input type="text"/> 主任CM: <input type="text"/> ・専門職員会議参加数(外部の者 が参加するものに限る) 保または看: <input type="text"/> 社福士: <input type="text"/> 主任CM: <input type="text"/> ・研修受講報告書・議事録等、職 員間での内容共有がわかるもの		
16	職場外の研修へ参加する機会を確保している。			
17	研修参加記録に基づき、各研修内容を共有をしている。			
18	各々の専門職員会議に出席し、会議の内容を共有している。			

⑥地域包括支援センターについて積極的に地域住民に周知している。		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 3	0	3
19	地域住民や介護支援専門員、サービス事業者等の多様な関係者がわかりやすいように事務所を設置している。	・事務所の場所・看板等 ・パンフレット類 ・PR活動についてわかるもの		
20	地域住民・関係者に対しパンフレットやチラシ等を作成・配布し、包括の活動を周知している。			
21	地域のイベント等に参加するなどの機会を積極的に捉えてPR活動を行っている。			
⑦苦情に対して適切に対応している。		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 3	0	3
22	苦情を受けた場合、速やかに事実関係を確認し対応している。	・苦情対応マニュアル マニュアルの有無 <input type="checkbox"/> 記録等。苦情内容について法人・センター内での報告・情報共有がわかるもの		
23	苦情の内容・対応について記録し、情報を共有している。			
24	苦情内容について、法人本部に報告している。			
⑧センターの各種報告書等、期日までに提出している。		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 4	0	4
25	職員の変更があった際、速やかに変更届出書を提出している。	従事者届、予算書・決算書。報告書については市・基幹型包括で確認		
26	市の委託事業について、事業完了後速やかに決算報告書を提出している。			
27	センター業務の会計について把握し、管理ができています。			
28	総合相談の報告等、報告書を提出しなければならないものについて、期日までに提出している。			

2. 総合相談支援業務		市評価合計		達成率	
		0	20	0.0%	
		確認事項・書類等	達成できているものに○		市のコメント
			包括評価	市評価	
①担当地域の実態について把握に努めている。		包括評価合計	市評価合計		
		0	5	0	5
29	担当地域の第一号被保険者数(高齢者人口)を把握している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 ・活動支援の状況(訪問状況含む) ・実態調査フォローアップ訪問状況 ・地域福祉ネット会議、民生委員との懇談会等、地域の会議への参加状況			
30	担当地域の特性、地域の高齢者の心身状況、家庭環境等について実態把握に努めている。				
31	高齢者実態調査事業や日々の訪問活動から担当地域の支援が必要な高齢者について把握している。				
32	様々な業務から地域の実態を把握し、地域の問題やニーズを発見、早期に対応している。				
33	把握した地域の問題やニーズを生活支援コーディネーターと共有し協議を行っている。				
②相談を受けた場合、状況を把握し、適切に対応している。		包括評価合計	市評価合計		
		0	5	0	5
34	速やかに相談に対応し、相談者との信頼関係の構築に努めている。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 ・相談受付内容の状況 ・活動支援の状況(訪問状況含む)			
35	相談内容や状況によって保健・医療・福祉サービス等の適切な支援につないでいる。				
36	的確に状況を把握し、緊急性の有無を判断した上で適切な対応を行っている。				
37	公正中立の観点から、居宅介護支援事業所等の他の事業所とセンター事務所の空間を明確に区別している。				
38	要介護認定申請予定者、新規の要介護認定者について相談があった場合、公正中立に居宅介護支援事業所の紹介を行っている。(紹介先について、一つの居宅支援事業所の占有率が50%を超えていない)				

③継続的な支援が必要な高齢者に対して、センターが中心となり関係者等と協力しながら適切な支援を行っている。		包括評価合計		市評価合計	
		0	6	0	6
39	積極的に訪問活動を行い、実態の把握や、継続的な見守りを実施している。	平成29年度 総合相談詳細集計、 包括事業報告書、進捗管理シート 参照 ・民生委員等地域の関係者と協力し 支援を行っている記録等 ・実態調査フォローアップ訪問状況 ・再相談に対応できる相談内容の 共有等がわかるもの。			
40	地域の社会資源やニーズを把握し、相談時、適切な情報提供を行っている。				
41	民生委員等、地域の関係者の情報提供で支援が必要と思われる高齢者に対して必要な支援を行っている。				
42	必要に応じて、複数での見守りや支援を行えるよう、地域の関係者等に支援・協力を促している。				
43	相談内容は全て記録しており、3職種の誰もが再相談に対応できるようにしている。				
44	支援が困難なケースについて、3職種の専門性を踏まえて協議し、対応している。				
④関係機関や住民等とのネットワークの構築を図っている。		包括評価合計		市評価合計	
		0	4	0	4
45	地域福祉ネット会議等、地域で行われている会合に参加し、センター内で情報を共有している。	平成29年度 総合相談詳細集計、 包括事業報告書、進捗管理シート 参照 ・地域住民や関係者からの意見や 地域課題について取り組んだ記 録・議事録等 ・情報共有できているか。			
46	各種地域の会合・会議等での住民や関係機関、サービス利用者等の意見を日々の活動に反映させている。				
47	各種地域の会合・活動・会議、日々の相談業務等で地域が抱える課題を把握し、解決に向けて取り組んでいる。				
48	地域包括ケアシステムの実現に向け、地域の保健・福祉・医療の専門職やボランティア、民生委員等の関係者と連携を図りながら活動している。				

3. 権利擁護業務		市評価合計		達成率	
		0	20	0.0%	
		確認事項・書類等	達成できているものに○		市のコメント
			包括評価	市評価	
①高齢者虐待・虐待疑いを早期に把握し、関係機関と連携し適切に対応している。		包括評価合計	市評価合計		
		0	7	0	7
49	「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」「伊丹市高齢者虐待防止マニュアル」について理解している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 ・虐待レビュー基本台帳、レビュー例月報告、支援記録・会議議事録 ・虐待対応の状況・虐待ケース実担当件数の状況(3職種それぞれの担当状況含む) ・啓発活動についてわかるもの			
50	虐待の早期発見・介入・再発防止のため、見守り活動等、様々な関係者とネットワークの構築を図っている。				
51	虐待や虐待疑いのあるケースの通報を受けた場合は、速やかに基幹型包括支援センターに報告し、連携して対応している。				
52	被虐待者のケガや虐待の状況、家族や家庭の状況等の情報把握を行い、ケアマネジャーや医療機関、民生委員等関係機関との情報収集・報告・共有等を行っている。				
53	コアメンバー会議に参加し、決定した役割を担っている。				
54	把握した状況・支援内容等は全て記録している。				
55	地域の高齢者及び関係機関に高齢者虐待防止に関する啓発を実施している。				
②判断能力の低下等により、成年後見制度の利用が必要な高齢者への制度の活用を図っている。		包括評価合計	市評価合計		
		0	4	0	4
56	成年後見制度の利用が望ましいと思われる高齢者に成年後見制度の説明を行い、利用を促している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 ・パンフレット等、成年後見制度を紹介した等の支援記録			
57	市長申し立てが必要な対象者について、福祉権利擁護センター及び市に連絡し、連携して支援を行っている。				

58	本人申し立てで制度を利用しようとする場合、書類作成等の後方支援を行っている。				
59	制度に結びつかない場合でも、日常生活等の必要な支援を関係機関と連携しながら行っている。				
③対応が困難な事例についてセンター職員や基幹型地域包括支援センター等と対応を協議しながら適切に対応している。		包括評価合計	市評価合計		
		0 / 6	0 / 6		
60	困難事例把握時、3職種がチームとなって対応策を協議している。	平成29年度 総合相談詳細集計、 包括事業報告書、進捗管理シート 参照 ・困難事例に対するセンターとしての 事例検討会の開催状況 ・地域ケア会議の開催状況 ・緊急時連絡体制の確認。基幹 型包括と連携し支援したことがわ かる記録 ・3職種がチームとなって対応した ことがわかる記録 ・必要に応じて専門機関と連携、 サービス利用につなげたことがわ かる記録等			
61	自センターのみでは対応困難な場合は基幹型地域包括支援センターに報告・相談しながら支援を行っている。				
62	緊急時(夜間・休日・年末年始)において、センター職員間で連絡の取れる体制ができています。				
63	困難事例に対して積極的に訪問等による状態確認やアセスメント支援を行っている。				
64	認知症や心身の状況等で自ら金銭管理や各種契約等に援助が必要な場合、福祉サービス利用援助事業や財産保全・管理等サービス事業等の適切なサービスの利用につなげている。				
65	弁護士等専門的な助言・支援が必要な場合、福祉権利擁護センター等の専門機関と連携して支援を行っている。				
④消費者被害の防止・被害回復に努めている。		包括評価合計	市評価合計		
		0 / 3	0 / 3		
66	地域団体・関係機関と連携し、消費者被害情報の把握を行っている。	平成29年度 総合相談詳細集計、 包括事業報告書、進捗管理シート 参照 ・消費者被害の支援記録 ・パンフレット等啓発活動			
67	消費者被害者を把握したら、消費生活センターや警察等に相談し、被害回復につとめている。				
68	消費者被害を未然に防ぐため、地域の高齢者及び関係機関にパンフレット等を活用しながら注意喚起を行っている。				

4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務		市評価合計		達成率
		0 / 11		0.0%
①包括的・継続的ケアマネジメント体制の強化を図っている。		確認事項・書類等	達成できているものに○	市のコメント
		包括評価	市評価	
		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 6	0 / 6	
69	地域の介護支援専門員と医療機関等、関係機関とが連携できるよう支援している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 ・連携・協力等がわかる記録・議事録等(個別ケア会議、ケアマネジメント支援会議、多職種連携会議、民生委員児童委員地区懇談会記録等)		
70	地域の介護支援専門員が介護保険サービス以外の様々な社会資源(地域の力)を活用できるよう連携・協力している。			
71	「民生委員児童委員地区懇談会」を開催し、地域と介護支援専門員がつながるよう支援している。			
72	介護支援専門員の質の向上のため、研修や事例検討会、情報提供を行っている。			
73	定期的に「ケアマネジメント支援会議」を開催し、介護支援専門員のアセスメント力の強化(人材育成)、地域におけるケアマネジメント課題の把握(地域づくり)に取り組んでいる。			
74	ケアプランチェックを行う等、自立支援に資するケアプランの強化に取り組んでいる。			
②地域の介護支援専門員の資質向上のため、個別支援を行っている。		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 5	0 / 5	
75	地域の介護支援専門員の状況を把握するとともに、業務について相談や指導を行っている。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 ・介護支援専門員へのケアプランの指導状況 ・居宅介護支援事業所への巡回相談訪問実施状況		
76	地域の介護支援専門員に対して、必要に応じてケアプランの作成指導等を行っている。			
77	地域の介護支援専門員が抱える困難事例について、具体的な支援(同行訪問、サービス担当者会議の開催支援)を行っている。			

78	主任ケアマネジャーによる巡回相談訪問等を基幹型包括と協力して行い、介護支援専門員の業務について相談・指導を行っている。	・ケアマネジメント支援会議実施状況 ・資質向上、ネットワーク構築を目的とした、連携会、会議等の実施数		
79	意見交換等を通じた介護支援専門員同士のネットワーク構築の支援を行っている。			

5. 地域ケア会議		市評価合計		達成率	
		0	5	0.0%	
①地域ケア会議で地域課題について検討し解決に努めている。		確認事項・書類等	達成できているものに○		市のコメント
			包括評価	市評価	
		包括評価合計	市評価合計		
		0	5	0	5
80	個別ケア会議について、民生委員や近隣住民、関係機関等の参加に配慮して開催している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 個別ケア会議開催状況状況 ・ケアマネジメント支援会議開催状況 ・多職種連携会議開催状況 ・地域福祉ネット会議開催状況 ・個別ケア会議とりまとめシート、多職種連携会議議事録等			
81	個別ケア会議の積み重ねから地域課題を抽出、検討し、解決につなげられることを念頭に地域ケア会議を開催している。				
82	ケアマネジメント支援会議を通じて、必要に応じてケアマネジメントにおける地域課題の解決について話し合っている。				
83	地域ケア会議の状況について、他の地域型包括支援センター・基幹型包括支援センターと情報共有を行っている。				
84	多職種連携会議において、個別ケア会議から抽出した地域課題について、多職種と協働して検討できている。				

6. 介護予防の推進（一般介護予防事業）		市評価合計		達成率	
		0	19	0.0%	
		確認事項・書類等	達成できているものに○		市のコメント
			包括評価	市評価	
①地域の高齢者の集いの場等に参加し、介護予防が必要な高齢者の状況等を把握している。		包括評価合計	市評価合計		
		0	0		
		5	5		
85	担当地域の介護予防自主グループ等、介護予防の地域資源について状況を把握している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照			
86	地域の集まり等から介護予防が必要な高齢者を把握している。	・介護予防のための地域の集いの場（現在）			
87	積極的に高齢者の集まる場に参加し、 <u>地域の高齢者の実態について</u> 把握している。	小学校			
88	介護予防が必要な高齢者に地域資源の紹介や必要なサービスの利用をマネジメントできている。	介護予防事業実施状況調査【特別調査】「介護予防に資する住民運営の通いの場の展開状況」等。			
89	自主グループを立ち上げたい地域住民に対して、助言等の後方支援をしている。				
②いきいき百歳体操の周知や体操指導等の後方支援をしている。		包括評価合計	市評価合計		
		0	0		
		8	8		
90	介護予防の重要性について健康教育等の機会を捉え、普及啓発を行っている。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照			
91	体操実施検討グループ等の説明会で体操の内容・効果、近隣住民が集まることの大切さについてわかりやすく説明している。	・いきいき百歳体操グループ数の状況			
92	筋力アップにより効果がでるように体操の仕方とその効果について指導を行っている。	・いきいき百歳体操に関する説明・指導・講座等の実施状況			
93	血圧等、参加者それぞれが自分の健康管理に留意するよう、適宜助言を行っている。	・健康教育実施報告書、体力測定結果データ、活動記録等。			
94	参加者の体力が明確にわかり、体操の効果が比較できるよう、開始時、3ヵ月後、6ヵ月後、1年後の体力測定を実施している。				

95	体操開始時、3ヶ月後、6ヵ月後、1年後の参加者の体力の把握や、体操の効果について比較、評価を行っている。			
96	担当地域のいきいき百歳体操住民グループの実施状況について把握し、後方支援をしている。			
97	いきいき百歳体操や介護予防教室等で何らかの支援が必要と判断した高齢者に対し、個別アプローチを行っている。			
③地域の実情に合った健康教育・出前講座等を開催している。		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 4	0 / 4	
98	担当地域の実情を踏まえ、開催場所の選定を行っている。	平成29年度 総合相談詳細集計、 包括事業報告書、進捗管理シート 参照 ・健康教育・出前講座等の実施状況 ・介護予防に関する相談の状況 ・健康教育実施報告書、体力測定 結果データ、活動記録等		
99	参加者が自宅等でも自主的に介護予防等に取り組めるようなメニューを取り入れている。			
100	地域の実情・地域住民のニーズに合った内容・講師を依頼している。			
101	個別に支援が必要な高齢者に対して、講座等以外にも随時面談や訪問による状況把握等の支援を行っている。			
④もの忘れ検診・ロコモ検診受診者で2次検査が必要と判定された者に受診勧奨等、適切な支援を行っている。		包括評価合計	市評価合計	
		0 / 2	0 / 2	
102	もの忘れ検診・ロコモ検診受診者で2次検査が必要と判定された者に電話・訪問等を行い、受診勧奨や受診後の状況について確認している。	平成29年度 総合相談詳細集計、 包括事業報告書、進捗管理シート 参照 ・受診勧奨、受診後の確認状況及び継続 支援を行った状況(平成30年3月末 現在)		
103	もの忘れ検診・ロコモ検診受診者への状況確認において、認知機能や体調等で不安がある人には継続支援を行い、必要なサービスの利用や地域資源の活用等を促している。			

7. 指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援事業		市評価合計		達成率
		#REF!		#REF!
		確認事項・書類等	達成できているものに○	
包括評価	市評価			
①利用者の状況を把握し、その人に合った「自立支援」に向けた介護予防サービス支援計画の作成、介護予防ケアマネジメントを実施している。		包括評価合計	市評価合計	
		0	9	
104	利用者や家族の状況・ニーズにあった「自立支援」に向けた介護予防サービス支援計画の作成、介護予防ケアマネジメントを実施している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照		
105	利用者について定期的にモニタリングし、介護予防サービス支援計画・介護予防ケアマネジメントの評価・見直しを行っている。	・センターが作成した介護予防サービス支援計画・介護予防ケアマネジメント件数の状況		
106	必要に応じてサービス担当者会議を開催し、関係機関の意見や利用者本人や家族の状況に応じ、介護予防サービス支援計画・介護予防ケアマネジメントの見直しを行っている。	※以下、担当圏域の全介護予防サービス支援計画、介護予防ケアマネジメント数のうち、何%か記入		
107	「自己評価シート」を記入する等、自らの介護予防サービス支援計画・介護予防ケアマネジメントの見直しや、自立支援型の介護予防サービス支援計画の作成、介護予防ケアマネジメントの実施をするよう努めている。	・最も委託した居宅介護支援事業所		
108	利用者にとって有効な地域資源を活用できている。	占有率(%)		
109	指定居宅介護予防支援事業者に業務を一部委託している介護予防サービス支援計画・介護予防ケアマネジメントについて、必要に応じて助言・指導を行っている。	・自法人の居宅占有率(%)		
110	介護予防サービス支援計画・介護予防ケアマネジメントが、正当な理由なく特定のサービス事業者(通所介護・訪問介護等)に偏っていない。(特定のサービス事業者の占有率が50%を超えていない)	・センターの3職種が担当している介護予防サービス支援計画、介護予防ケアマネジメント件数 (平成30年3月現在)		
111	介護予防サービス支援計画・介護予防ケアマネジメントの一部委託先が、正当な理由なく特定の指定居宅介護支援事業所に偏っていない。(特定の居宅の占有率が50%を超えていない)	・介護予防サービス支援計画書、介護予防ケアマネジメント(センター作成分、一部委託作成分) ・予防給付評価区分一覧表等		
112	センター職員が担当する介護予防サービス支援計画・介護予防ケアマネジメントの件数は、職員1人あたり平均25件以下である。			

8. 認知症関連業務		市評価合計		達成率	
		0	7	0.0%	
①認知症の相談について適切に対応し、必要に応じて関係機関と連携しながら支援している。		確認事項・書類等	達成できているものに○		市のコメント
			包括評価	市評価	
		包括評価合計	市評価合計		
		0	4	0	4
113	地域包括支援センターが認知症の相談窓口であることについて積極的に周知している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 ・認知症支援記録、パンフレット等 ・認知症相談センター相談件数実績報告			
114	相談に対して適宜必要な対応を行っている。				
115	本人・家族の支援にかかる情報・資源を把握し、必要に応じて情報提供をしている。				
116	基幹型包括支援センター（認知症地域支援推進員）や医療機関等、関係機関と連携して支援を行っている。				
		包括評価合計	市評価合計		
		0	3	0	3
		②地域住民の認知症に対する理解を深めるため、知識の普及啓発を行っている。			
117	地域住民を対象とした認知症サポーター養成講座を年2回以上開催している。	平成29年度 総合相談詳細集計、包括事業報告書、進捗管理シート参照 ・認知症サポーター養成講座の実施状況 ・健康教育実施報告書、実施記録等			
118	自治会や民生委員、地域のサロン等、地域住民に対し認知症の知識の啓発を行っている。				
119	家族介護者教室にて「認知症予防」の講座を実施している。				